施設問題

問 全天候型陸上競技場を作るべき

答 新たな検討委員会で検討します

下川辰男議員

【スノーハープの有効活用】

問 **施設は、冬季に比べグリーンシーズンは有効に活用されていません。夏の陸上合宿を受け入れできる施設として、全天候型陸上競技場を作るべきだと思いますが。**

村長 年間の維持費に対し、使用料収入が低いので何とか収入が増えるような手当てが必要です。陸上競技場を整備することにより、利用人数の大幅アップが見込め、合宿等の受け入れができることにより地域経済効果も大きいので、競技団体や観光関係者などによる検討委員会を立ち上げ、検討したいと思います。

問 **庁内検討委員会の検討状況は。**

村長 昨年、教育委員会内に関係各課から委員7名を選出し、「白馬クロスカントリー競技場の利活用の可能性」について先進地等を視察し、各方面から期待されている全天候型陸上競技場の整備について、環境アセス等調査を検討しています。

問 **整備には多額の費用が必要となりますが、その財源は。**

村長 あの地域は、幸い辺地エリアであるので、辺地債で対応したいと考えています。なお、今後の進め方は、競技団体や観光関係者などの意見を十分聞いて、21年度中に意見をまとめたいと思います。

有効活用を望むスノーハープ

【新年度予算】

問 **規模と重点施策は。**

村長 地域役員懇談会等での経過を踏まえ、財政健全化を進めながら限られた予算の中で、優先順位や緊急性を加味し、できうる限りの施策を展開したい。福祉関連ではデマンド型乗合車両の本格運行、道路関連では神城山麓線の継続整備、環境関連では公衆トイレの改修とごみ減量に向けた総合的な取り組み、教育関連では図書館の蔵書管理システムの構築、スポーツ関連ではジャンプ競技場等の利活用と総合型地域スポーツクラブの立ち上げ、観光関連ではグリーンシーズンの誘客促進、宿泊施設の強化、インバウンドの推進などを考えています。

【松本・糸魚川連絡道路ルート案】

問 **村内ルート作成は、どのように行いますか。**

村長 県の方針決定後に、地域の人達の意見を聞きながらルートを検討したいと思います。

問 **ルート作成にあたり、村のビジョンを考える必要があります。例えば、148号線とオリンピック道路の両方から入れる所に、新しく「道の駅」を作り、そこへ観光局や地場産の売店等を入れて白馬の玄関口にしたらどうかと考えますが。**

村長 高規格道路に合わせた拠点づくりは必要であり、今後の状況により方針を考えていきます。

問 **佐野坂から木崎湖大橋まで、もう一本道路が必要と思いますが。**

村長 必要なことは十分感じていますので、機会あるごとに県に要望していきたいと思います。